


# No.44 キーワード: レンゲ緑肥、共同防除

(農)ふぁー夢宗呂川  
高知県土佐清水市

## 基本情報

- 気候: 温暖・無霜地帯
- 土質: 礫質灰色低地土、灰色系、高知西南豪雨の影響により表土が少なく、地力が低い
- 従事人数: 14名(うち年従事時間150時間以上3名)
- 臨時雇用: 2,000時間
- 飼料用米の作付開始: H23

品目	作付面積	平均区画
主食用米(移植)	16.6ha	6a
飼料用米(移植)	7.3ha	6a
ブロッコリー	1.1ha	8a



10月上旬  
播種した  
レンゲの  
2月中旬  
の草姿

## 経営方針(重視・優先していること、こだわり等)

- 食用品種は良食味ブランド化、飼料用米専用品種の拡大
- 有機質活用により地力を向上させ、収量向上
- 5年後に水稻栽培29haを目標とし、雇用型経営を目指す

## 稲作の施肥・防除におけるコスト低減の取組

- 肥料  
飼料用米専用品種におけるレンゲ緑肥の導入による経費低減と地力向上(米の品質・収量に影響はない)
  - ・ 冬期温暖な地域、排水が良好な圃場で、多肥に対する耐倒伏性の高い品種の使用が望ましい
  - ・ レンゲは地上部重量を計測した後、刈払い作業を実施
- 防除、機械  
大型機械(スパウダースプレイヤー)による共同防除
  - ・ 農業共済組合による共同防除が実施されている地域であり、品種・栽培時期をブロック内で揃えること

## 導入効果

- 施肥・土作り  
肥料費 ▲約6割  
労働時間 ▲約2割  
(飼料米専用品種慣行栽培との比較)
- 防除  
農薬費 ▲約4割  
労働時間 ▲約9割  
(飼料米専用品種慣行栽培との比較)

## 支援体制

- レンゲは環境保全型農業直接支払交付金の事業説明会をきっかけに導入
- 地方自治体やJA等による支援: 農業振興センター・JAがレンゲ・水稻の栽培指導を実施
- 集落営農組織であり、地域の合意を得て活動を実施

## 課題・今後の目標

- 品種を集約し、専用品種ではいもち病対象薬剤の散布をやめて更なるコスト低減